

情報通信審議会 情報通信技術分科会 局所吸収指針委員会
比吸収率測定方法作業班(第4回) 議事要旨(案)

1 日時

平成22年7月28日(水) 14時00分～15時30分

2 場所

合同庁舎第2号館 10階 共用1001会議室

3 出席者(敬称略)

(1) 構成員

渡邊 聡一(主任)、吉長 寿、矢野 陽一(代理)、溝部 達克、松浦 長洋、
百成 卓三、濱田 リラ、戸田 善文、富樫 浩行、鈴木 能成、篠塚 隆(代
理)、石田 和人、伊藤 亮、大西 輝夫、大山 真澄(代理)、岡部 薫、
金山 佳貴、小松崎 剛

(2) オブザーバ

多氣 昌生(局所吸収指針作業班 主任)

(3) 追加講演者

横田 等

(4) 事務局

山田課長、丸尾電波利用環境専門官、齊藤課長補佐、山田係長、北原官

4. 議事

- (1) 前回の議事要旨(資料－測定4－1)について、修正意見があれば、後日事務局
あて連絡することとして了承された。
- (2) 渡邊主任より、資料－測定4－2に基づき、説明があった。
- (3) 大西構成員、濱田構成員より、資料－測定4－3に基づき、説明があった。
- (4) 百成構成員より、資料－測定4－4に基づき、説明があった。
- (5) 横田専門家より、資料－測定4－5に基づき、説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり。

戸田構成員：現在、IEC62209-2よりさらに新しいSAR測定方法が議論されてい
ると思うが、IEC62209-2には自動的に反映されるのか。それともまた
審議を行うのか。

濱田構成員：この作業班で審議しているのはIEC62209-1の改訂版である。その次
の段階としてIEC62209-1とIEC62209-2をマージするという案が出て
いる。基本的にIEC62209-1で承認されれば、IEC62209-2でも使える
ようにしたいと考えている。

戸田構成員：整合性を合わせていくといった方針はないのか。

濱田構成員：マージは必要だという認識はあるが、IEC62209-1 と IEC62209-2 をマージした時にどこに不都合が生じるかを検討する必要がある。

(4) その他

次回作業班の開催日程は別途調整の上、事務局より連絡することとなった。

【配付資料】

資料－測定 4－1 比吸収率測定方法作業班（第3回）議事要旨（案）

資料－測定 4－2 渡邊主任提出資料

資料－測定 4－3 大西構成員、濱田構成員提出資料

資料－測定 4－4 百成構成員提出資料

資料－測定 4－5 横田専門家提出資料